

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	委託契約事務										
測定年度	2021(R3)年度			部	総務部				課	契約課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理		特性	内部事務				区分	一般内部管理事務		
事業期間	不明			年度	~		年度まで				
根拠法令等	地方自治法第234条										
関係補助金名称								サンセット			
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット	業務委託を発注する職場									
	サブターゲット	本市が発注する業務委託について、競争入札等に参加する者									
	ターゲットが抱える課題	発注する業務委託について、公正性、公平性、透明性をもって、かつ経済性を確保し、適正に契約を締結する必要がある。									
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	入札・契約過程の公平性、公正性、透明性を高め、もって競争性の確保・向上を図ることにより、競争入札等に参加する者の公平で健全な競争環境が構築され、市にとって最も有利な条件で契約が締結される状態。										
事業概要	発注課の依頼を受け、発注標準及び事業実績等に基づき、適正な入札執行後、契約の締結をする。(2007年度から、契約事務の一元化により市長部局・教育委員会・市立ひらかた病院・上下水道局・枚方寝屋川消防組合分を含む。)										

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						競争入札等に参加する者の公平で健全な競争環境が構築される。(委託)				発注課の依頼を受け、発注標準及び事業実績等に基づき、適正な入札執行後、委託契約の締結をする。			
指標説明						委託契約に係る入札等成立率 【算出式: 委託契約に係る落札件数 / 委託契約に係る入札等適正執行件数 × 100】				委託契約に係る入札等適正執行率(取止めのない入札執行率) 【算定式: 委託契約に係る取止めのない入札執行件数 / 委託契約に係る入札等依頼件数 × 100】			
指標種類		単位				単位				単位			
		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標設定	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					100	100	100	100	1,000	100	100	100
	実績					85.06	86.61			1,125	98.71		
達成度						87%				99%			
分析						年度や発注業種によって変動はあるが、概ね見込みどおりの数値となった。				2年度は入札執行件数としていたが、3年度からは入札等適正執行率に変更し、概ね見込みどおりの数値となった。			

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	4.64
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.17
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	37,600	36,924	36,456		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	1,090	0	330		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	38,690	36,924	36,786		
	物件費計	169	119	23	300	8%
	歳出計	38,859	37,043	36,479		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	38,859	119	23	300	

5. 総括的分析

総括的分析 不正行為を防止し、もって入札・契約過程におけるより一層の公正性・競争性の確保・向上及び事務の効率化を図るため、平成30年度より入札については原則電子入札システムにより執行している。また、事務負担の軽減、効率化を図るため、恒常的業務委託等の見直し、長期継続契約の対象拡大に向けた整備を行った。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も入札・契約事務の公正性・競争性の確保・向上及び事務の効率化を促進する。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	工事契約事務															
測定年度	2021(R3)年度				部	総務部				課	契約課					
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4								
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり													
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます													
	実行計画名															
1. 事務事業の概要																
種類	内部管理				特性				内部事務				区分		一般内部管理事務	
事業期間	不明				年度	~						年度まで				
根拠法令等	地方自治法第234条															
関係補助金名称												サンセット				
関係附属機関名称																
事業対象	メインターゲット		建設工事を発注する職場													
	サブターゲット		本市が発注する建設工事について、競争入札等に参加する者													
	ターゲットが抱える課題		発注する建設工事について、公正性、公平性、透明性をもって、かつ経済性を確保し、適正に契約を締結する必要がある。													
	ターゲットが抱える課題															
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	入札・契約過程の公平性、公正性、透明性を高め、もって競争性の確保・向上を図ることにより、競争入札等に参加する者の公平で健全な競争環境が構築され、市にとって最も有利な条件で契約が締結される状態。															
事業概要	発注課の依頼を受け、発注標準及び事業実績等に基づき、適正な入札執行後、契約の締結をする。															
2. ロジックモデル及び指標設定																
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
					競争入札等に参加する者の公平で健全な競争環境が構築される。(工事)				発注課の依頼を受け、発注標準及び事業実績等に基づき、適正な入札執行後、工事契約の締結をする。							
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
	指標説明						工事契約に係る入札等成立率 【算出式: 工事契約に係る落札件数 / 工事契約に係る入札等適正執行件数 × 100】				工事契約に係る入札等適正執行率(取止めのない入札執行率) 【算定式: 工事契約に係る取止めのない入札執行件数 / 工事契約に係る入札等依頼件数 × 100】					
			単位		単位		%		単位		%					
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)						100	100	100	100	400	100	100	100		
	実績						85.71	87.11			329	99.61				
達成度						87%				100%						
分析						年度や発注業種によって変動はあるが、概ね見込みどおりの数値となった。				2年度は入札執行件数としていたが、3年度からは入札等適正執行率に変更し、概ね見込みどおりの数値となった。						

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	3.79
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.31
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

#### 4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	34,794	34,213	29,778		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	3,157	2,158	2,287		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	37,951	36,371	32,065		
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	37,951	36,371	32,065		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	37,951	0	0	0	

#### 5. 総括的分析

総括的分析 不良・不適格業者を排除し、より一層の競争性の向上を図るため、予定価格及び最低制限価格について、引き続き全ての案件を事後公表とした。また、指標でもある入札等成立率の向上に係る入札中止対策として、現場代理人の配置基準の緩和、入札参加件数及び受注制限件数の緩和、1者入札を中止としない場合の拡大等を推進した。今後も、適正な入札執行を目指すとともに、事務負担の軽減を図る必要がある。

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も入札・契約事務の公正性・競争性の確保・向上及び事務の効率化を促進する。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	電子入札システム運営事業									
測定年度	2021(R3)年度			部	総務部			課	契約課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4			
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり							
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます							
	実行計画名									

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2004(H16)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	契約担当課
	サブターゲット	本市が発注する電子入札案件に参加する者
	ターゲットが抱える課題	競争入札及び見積合せに付する案件を広く電子入札案件とすることにより、契約事務の効率化を図る必要がある。
	ターゲットが抱える課題	電子入札に参加するための手続きとコストが負担となっている(サブターゲット)

めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	本市入札・契約制度に適合した電子入札システムが安定的に稼動し、効率的に契約事務が行われている状態。
-----------------------	---

事業概要	大阪府下で電子入札システムを導入する自治体で構成する大阪地域市町村共同利用電子入札システム運営協議会において、システム開発・運営経費を各自治体で分担支出し、共同運用する。
------	---

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)	本市入札・契約制度に適合した電子入札システムが安定的に稼動する。				インプット(活動)	システム開発・運営経費を分担支出する。			
	指標説明					アウトカム(活動効果)	システム障害発生件数				アウトプット(活動結果)	分担金支出額			
指標設定	指標種類	単位				単位				単位					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)					0	0	0	0	5,060,000	5,060,000	5,060,000	5,060,000		
	実績					0	1			5,059,710	4,915,213				
	達成度					90%				103%					
分析					概ね見込みどおりの数値となった。				加入団体が1市増加したことにより、若干の減少となった。						

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.02
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	160	160	157		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	160	160	158		
	物件費計	5,209	7,449	4,915	5,060	97%
	歳出計	5,369	7,609	5,073		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	5,369	7,449	4,915	5,060	

5. 総括的分析

総括的分析 引き続き、府下16市での共同利用・共同運用を行い、安定的な稼働、電子入札システム運営事務の効率化、経費負担の軽減を図る。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、電子入札システムの共同利用・共同運用を行い、電子入札システム運営事務の効率化、経費負担の軽減を図る。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	物品契約事務									
測定年度	2021(R3)年度			部	総務部			課	契約課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4			
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり							
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます							
	実行計画名									

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理		特性	内部事務			区分	一般内部管理事務		
事業期間	不明			年度	~				年度まで	
根拠法令等	地方自治法第234条									
関係補助金名称							サンセット			
関係附属機関名称										
事業対象	メインターゲット	物品業務を発注する職場								
	サブターゲット	本市が発注する物品業務について、競争入札等に参加する者								
	ターゲットが抱える課題	発注する物品業務について、公正性、公平性、透明性をもって、かつ経済性を確保し、適正に契約を締結する必要がある。								
	ターゲットが抱える課題									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	入札・契約過程の公平性、公正性、透明性を高め、もって競争性の確保・向上を図ることにより、競争入札等に参加する者の公平で健全な競争環境が構築され、市にとって最も有利な条件で契約が締結される状態。									
事業概要	発注課の依頼を受け、納入実績、取扱状況を勘案して業者選定を行い、適正な見積り合わせ、または入札執行後、購入・賃借契約を締結する。									

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						競争入札等に参加する者の公平で健全な競争環境が構築される。(物品)				発注課の依頼を受け、納入実績、取扱状況を勘案して業者選定を行い、適正な見積り合わせ、または入札執行後、購入・賃借契約を締結する。		
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	指標説明				物品契約に係る入札等成立率 【算出式: 物品契約に係る落札件数 / 物品契約に係る入札等適正執行件数 × 100】				物品契約に係る入札等適正執行率(取止めのない入札執行率) 【算定式: 物品契約に係る取止めのない入札執行件数 / 物品契約に係る入札等依頼件数 × 100】			
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	単位				単位				単位			
	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標数値				目標数値				実績			
達成度				99%				100%				
分析				概ね見込みどおりの数値となった。				2年度は入札執行件数としていたが、3年度からは入札等適正執行率に変更し、概ね見込みどおりの数値となった。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	4.15
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.41
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	34,761	31,103	32,607		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	2,950	2,158	2,287		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	37,711	33,261	34,894		
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	37,711	33,261	34,894		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	37,711	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	不正行為を防止し、もって入札・契約過程におけるより一層の公正性・競争性の確保・向上及び事務の効率化を図るため、令和4年度からの電子入札の導入に向け、一部業種における環境整備を行った。今後、さらに対象拡大を検討する必要がある。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も入札・契約事務の公正性・競争性の確保・向上及び事務の効率化を促進する。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称		契約課運営事務												
測定年度	2021(R3)年度				部	総務部				課	契約課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外											
	施策目標		99.施策体系外											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	内部管理			特性			庶務的事務			区分		庶務的内部管理事務		
事業期間	不明			年度	~								年度まで	
根拠法令等	決裁													
関係補助金名称							サンセット		-					
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		契約課職員											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		日常業務に追われる等により、効率的な運営が図れておらず、更なる事務改善が必要である。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	日常業務の内容や処理過程の見直しを行い、合理的かつ合理的な運営を図ることができている状態。													
事業概要	課の運営業務													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
指標設定	指標説明													
	指標種類		単位		単位		単位		単位		単位		単位	
	指標数値	目標(見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績												
	達成度													
	分析													

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

#### 4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,608	3,190	3,143		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	3,608	3,190	3,143		
	物件費計	777	757	702	1,631	47%
	歳出計	4,385	3,947	3,845		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	2,392	2,357	2,392	
	歳入計	0	2,392	2,357	2,392	
	一般財源	4,385	▲ 1,635	▲ 1,655	▲ 892	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	事務負担の軽減、効率化を図るため、入札参加有資格者登録申請の電子化、電子入札システムを活用した入札等の対象の拡大、電子メールの活用等の拡大、請書の提出を求めないこととする契約の範囲の拡大等を行った。
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も引き続き、課内庶務事務全般にわたり適正に執行しつつ、事務の効率化を図る。